

～農歯医工連携講座～

健康長寿社会を目指す農歯医工連携の取組み

科学は、人類の福祉に貢献することを目指し、その一つに生物としての人間の正常な生理を恒常的に維持するための努力が各学問分野で取り組まれてきました。農学では、これまで「食」の量の確保が図られ、現在、我が国では、「食」の質、特に機能性の作用機構の解明に多くの努力が払われています。医学および歯学の分野では、疾病の病因解明や正常な生理状態への回復に関する試み等から予防医学的な取組みが注目されてきています。工学分野においては、産業における人間の労働能力や労働時間の縮減あるいは代替方策が注目され大きく進展してきました。このように科学と技術を支える各学問分野は人類全体としての福祉に大きく貢献してきましたが、さらに個人々人における「生活の質の向上とその確保」も重要と考えられます。このような現状から、今回、農歯医工分野が一同に会し、それぞれの分野における「個人の生活の質の向上と確保」に関する取組みを紹介します。

日時 平成18年11月30日(木) 15:00～17:30
会場 とかちプラザ3階304室(帯広市西4条南13丁目)
受講料 無料



プログラム

- 15:00～15:05 開会挨拶:異分野融合の重要性ー農歯医工の連携についてー
帯広畜産大学地域共同研究センター長 関川三男 教授
- 15:05～15:35 農畜学:「十勝産農産物に秘められた力」
帯広畜産大学畜産科学科 福島道広 助教授
- 15:35～16:05 歯学:「歯科医療と食の場の関係」
つがやす歯科医院 梶安秀樹 院長
- 16:05～16:10 休憩
- 16:10～16:40 医学:「長寿と生活習慣 肥満の大罪」
帯広畜産大学保健管理センター所長 中村公英 教授
- 16:40～17:10 工学:「デジタルヒューマンーコンピュータの中に人間らしきものを作るー」
北見工業大学機械システム工学科 大橋鉄也 教授
- 17:10～17:30 総合討論/閉会挨拶